

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市東山老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活総合事業）の実施

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ・通所介護・介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
- ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所
- ・通所介護計画に基づく個々の利用者の自立支援を目指したサービス提供。
- ・京都式選べるデイサービス等を取り入れたグループ活動の実践による心身機能の向上、生活の充実のための支援
- ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との協議
- ・サービス向上に向けた取組として、ユーザーアンケートの実施と情報の公表の受診、職員に対する内外研修の積極的な取組

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者1名、生活相談員2名、看護職員4名、介護職員11名、運転手1名、調理員2名、機能訓練指導員5名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 述べ利用者数(実績値)

10789 人

(2) 実利用者数(実績値)

1370 件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	100,010,762
利用料収入	6,485,743
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	42,010,955
収入計	148,507,460

イ 令和2年度支出状況(単位:円)

人件費	97,797,030
事業費	15,062,333
委託費	
小額修繕費	
その他	35,638,945
支出計	148,498,308

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和3年1月配布, 2月集計。配布数: 109名, 回答数: 56名, 回答率: 51.4%。

主な項目

利用時間	: 満足 58.9%	やや満足 37.5%	やや不満 1.8%	不満 0.0%	無記入 1.8%
送迎	: 満足 91.1%	やや満足 8.9%	やや不満 0.0%	不満 0.0%	無記入 0.0%
入浴	: 満足 62.5%	やや満足 23.2%	やや不満 3.6%	不満 0.0%	無記入 10.7%
食事	: 満足 69.6%	やや満足 14.3%	やや不満 1.8%	不満 0.0%	無記入 14.3%
レクリエーション	: 満足 39.3%	やや満足 26.8%	やや不満 3.6%	不満 1.8%	無記入 28.6%
機能訓練	: 満足 39.3%	やや満足 32.1%	やや不満 5.4%	不満 1.8%	無記入 21.4%
プライバシー	: 満足 57.1%	やや満足 17.9%	やや不満 1.8%	不満 0.0%	無記入 23.2%
全体	: 満足 60.7%	やや満足 26.8%	やや不満 0.0%	不満 0.0%	無記入 12.5%

(2) 利用者満足度把握の結果

前年度と比較し、利用時間、送迎、食事、機能訓練に関して「満足」「やや満足」との回答が増加しているが、入浴、レクリエーション、プライバシー、全体では「満足」「やや満足」が減少(無記入が増加)している。利用時間、送迎に関してはほぼ100%の利用者・家族が満足との回答を得ており、一定の評価を得ているが、レクリエーションに関しては満足度が低下しており、この部分を充実させることが早急に求められる。また、項目で「無記入」で提出されることが増加している為配布時に声掛けを行い、情報の共有を求めていく。「不満」が多い項目を分析し今後も真摯にサービス提供に努めていく。

(3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果を回覧にて職員間で情報共有し、職員会議にて協議を行った。指摘を受けた事項に関しては、職員会議において職員一人一人の意見を交換し、振り返りを行う機会を持った。また、広報紙においてアンケート結果の報告を行っている。

7 その他特記事項

(1)

サービス向上のための会議を職員会議等において実施、個別のケースにおいて事例を検討する等個々の支援方針についても協議を行っている。また、業務改善について継続して取り組みより良い環境の下で支援が行えるように協議を行っている。
法人内の併設事業所としっかり連携していく必要がある為、正規職員合同会議を毎月実施し経営について協議、デイサービスの「売り」やサービス提供での課題を議論しサービスの向上に努めている。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

令和2年度は令和元年度と比較して稼働率が 83.2%から 87.9%と4.7ポイントの増加、述べ利用者数は 10284名から 10789名に増加している。11月に利用者1名が新型コロナウイルスに感染した為営業を数日間停止した影響があったが、そこを差し引いても稼働率、述べ利用者数の増加があった。これは利用者のニーズを分析した結果、家族やケアマネジャーからは「機能訓練の充実」と「美味しい食事」の提供が重要視されていること、急な利用への対応を積極的に受け入れたこと、それぞれの職員が意識を持って業務にあたったこと等が影響したものと勘案する。しかし、アンケートで「不満」と回答される項目もみられる為内容を再検討し満足度を上げる必要がある。特にレクリエーションの内容を見直すことでより充実したデイサービスの利用となるよう努めていく。また、2年度は新型コロナウイルス蔓延防止の為、様々な対応を行ってきたが、結果的に陽性者が出たことを鑑み、より一層環境整備に努める。

その他、地域福祉組織やケアマネ・包括等関係機関が連携して見守り、支援を行う必要がある高齢者に関しては、包括主催の個別の地域ケア会議にも積極的に参加し、デイサービスでも柔軟に受け入れ・対応を行うよう心掛けてきた。利用者はもとより障がい者への対応に関して職員へは研修を通じ障害を理由とする差別の解消に向けた理解を深めている。